

今後の進め方（案）について

《 検討会の開催は、6回程度を予定 》

第1回（12月7日）：近年の気象や稲作技術と水稲単収との関係

第2回（1月26日）：地球温暖化が水稲生産に与える影響

- 各委員からプレゼン
 - ・ 地球温暖化が作物生産に与える影響
 - ・ 地球温暖化が水稲生産に与える影響
- 現行の算定方法について
 - ・ 気象データの加工方法等

第3回（3月2日(予定)）：北海道と九州の生産状況

- 北海道と九州の実態
 - ・ 各地域の研究者等からプレゼン
- 検討状況（中間報告）（案）を提起

〔 3月：平成19年産平年収量の決定
食料・農業・農村政策審議会統計部会に対し、
検討の状況を中間報告 〕

第4回（4月）：今後の算定方法の方向（案）を提起

第5回（6月）：算定方法のシミュレーション結果を検討



・・・ **平成19年産の作況を見極め、検証**

第6回（秋頃）：平成20年産以降の算定方法への反映のあり方を決定